

2022年2月9日

第73期(2022年3月期)
第3 四半期決算説明資料



大東港運株式会社

JASDAQ 9367

当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様



2022年3月期3rd-Qの環境

新型コロナウイルス感染症による影響は続く
経済活動は正常化に向かうが、先行きは不透明



・ 経済活動正常化



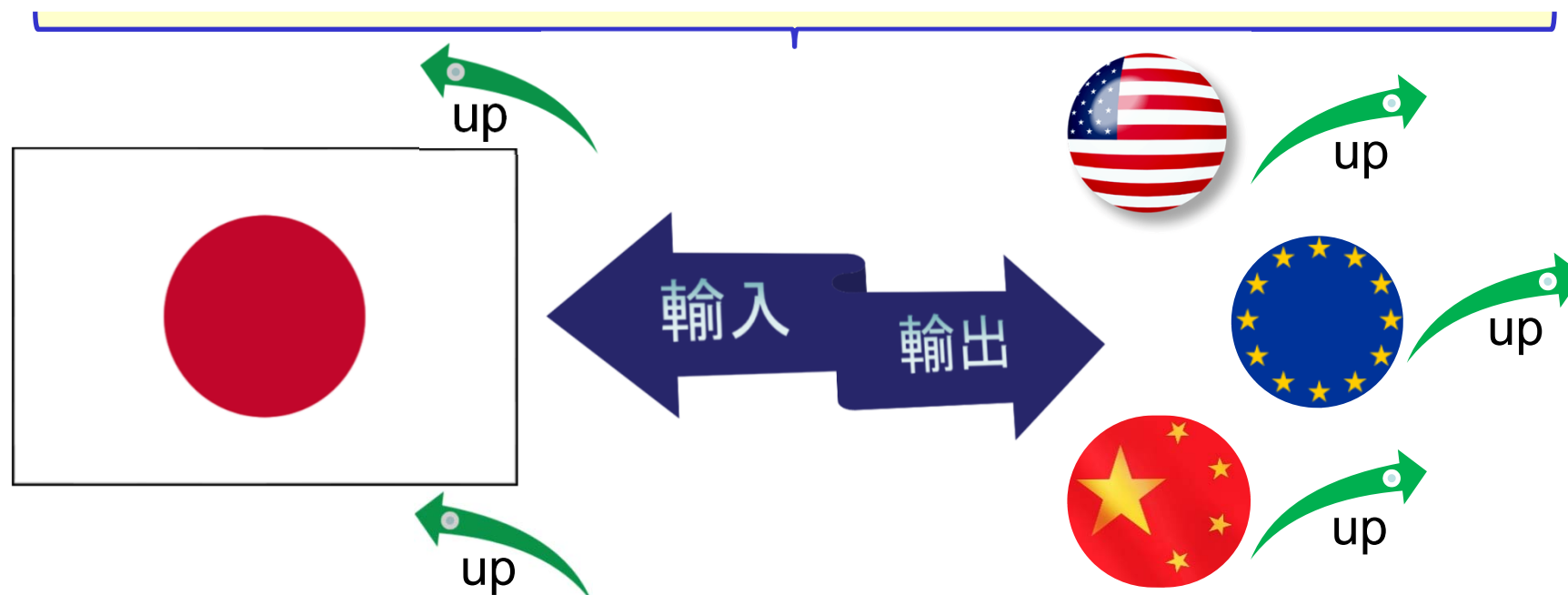
・ 急速回復後減速



・ 個人消費持ち直し

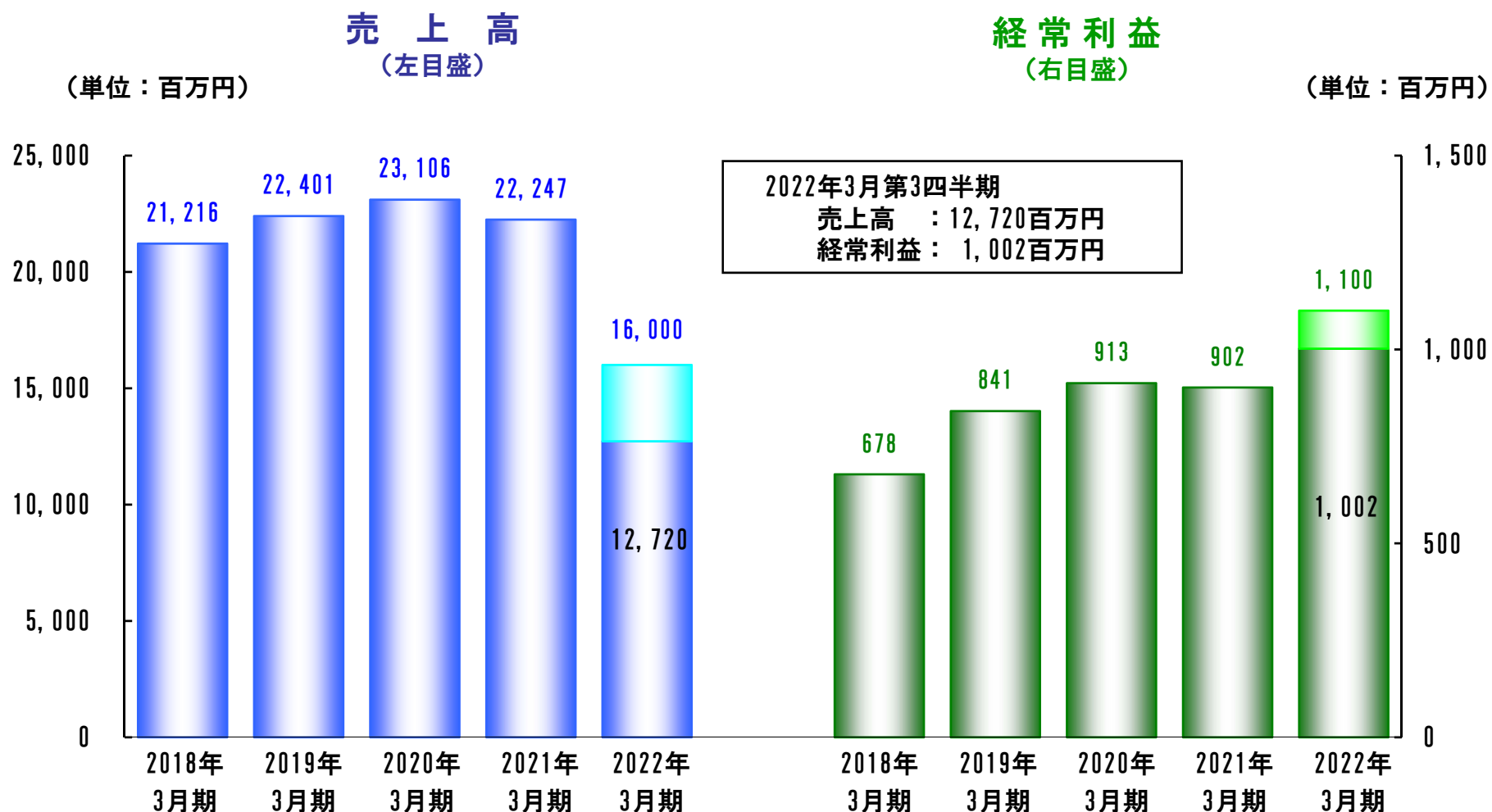


・ 経済伸び率鈍化



輸入及び輸出：米国・欧州・アジアともに増加

連結業績の推移



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、**連結業績予想及び実績**は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

収益認識基準変更による売上の変更について

(単位：百万円)

			2022年3月期3rd-Q		
			新基準での売上	収益認識基準により除外された売上	合計 旧基準での売上
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	3,703	1,979	5,682
		水産物	1,589	665	2,255
		農産物	1,261	606	1,867
		その他	3,558	2,356	5,915
		計	10,112	5,607	15,720
	鉄鋼物流		1,279	—	1,279
	その他		1,328	185	1,513
	合計		12,720	5,793	18,513

以下の頁については
当四半期値を旧基準に置換えて比較説明します。

P6. セグメント別売上高

P7. 業務別・取扱品目別連結売上高

P8. 連結業績の総括

P9. 四半期連結業績の推移（累計）

セグメント別売上高（収益認識基準変更前の基準に置換え比較）

輸出入貨物取扱事業

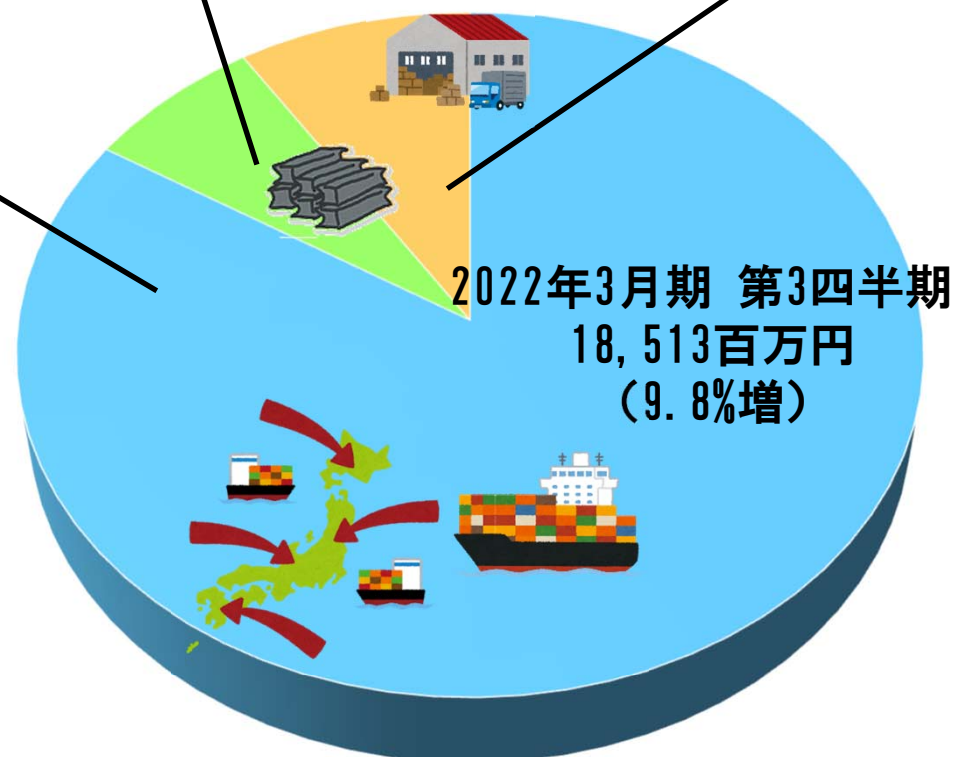
売上高：15,720百万円
前年同期間比：+1,102百万円
(7.5%増)

鉄鋼物流事業

売上高：1,279百万円
前年同期間比：+318百万円
(33.1%増)

その他事業

売上高：1,513百万円
前年同期間比：+232百万円
(18.2%増)



業務別・取扱品目別連結売上高（収益認識基準変更前の基準に置換え比較）

連結業績

売上高：18,513百万円 前年同期間比：+1,653百万円（9.8%増）

輸出入貨物取扱事業

売上高：15,720百万円
前年同期間比：+1,102百万円
（7.5%増）

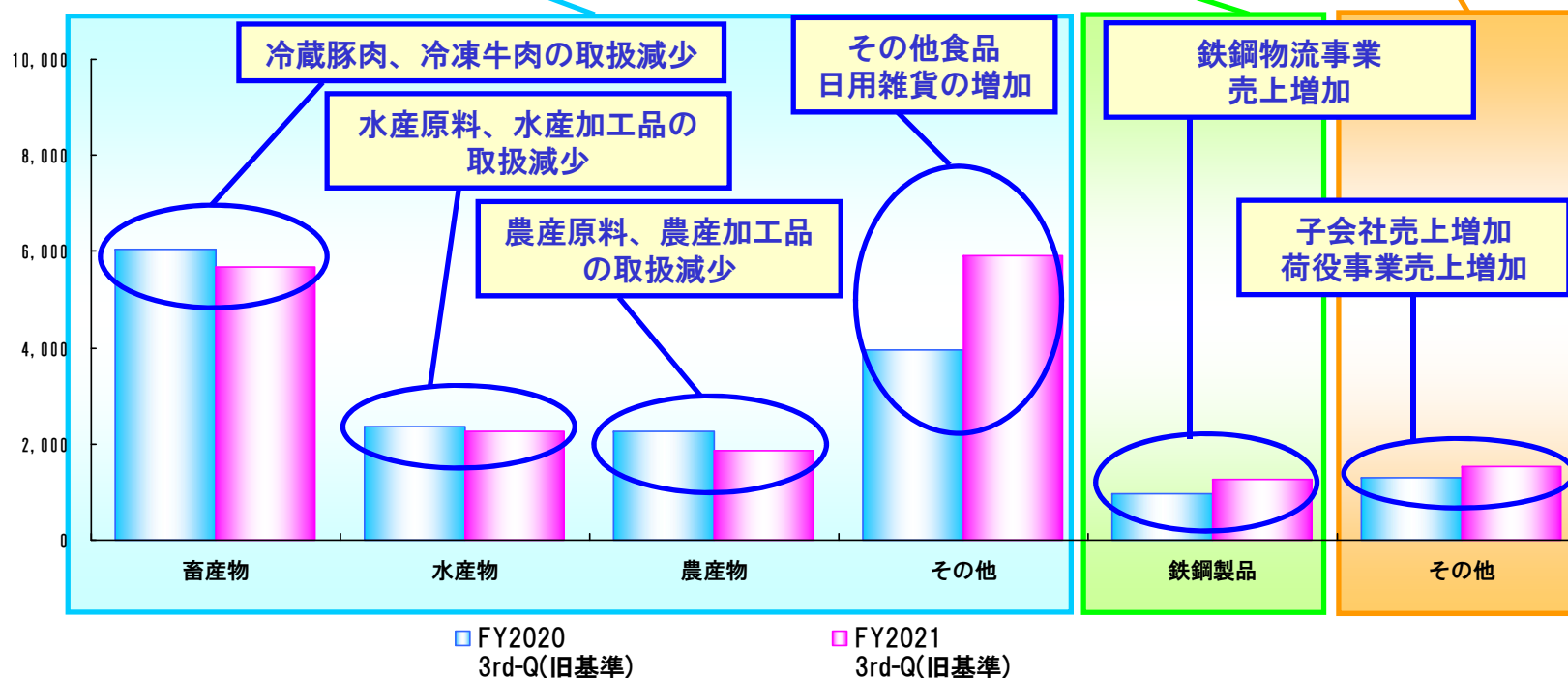
鉄鋼物流事業

売上高：1,279百万円
前年同期間比：+318百万円
（33.1%増）

その他事業

売上高：1,513百万円
前年同期間比：+232百万円
（18.2%増）

（単位：百万円）



連結業績の総括（収益認識基準変更前の基準に置換え比較）

連結業績の総括

売上高は、畜産物・水産物・農産物の取扱が減少したものの、その他食品・鉄鋼物流の取扱が増加したため、増収となった。増収により営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となった。

			2021年 3月期 3rd-Q	2022年 3月期 3rd-Q	増減	%	主な要因 (単位：百万円)
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	6,036	5,682	▲353	▲5.9	冷蔵豚肉、冷凍牛肉の減少
		水産物	2,344	2,255	▲89	▲3.8	水産原料、水産加工品の減少
		農産物	2,271	1,867	▲404	▲17.8	農産加工品、農産原料の減少
		その他	3,965	5,915	+1,949	+49.2	その他食品、日用雑貨の増加
		計	14,617	15,720	+1,102	+7.5	
	鉄鋼物流		961	1,279	+318	+33.1	鉄鋼物流事業売上増加
	その他		1,280	1,513	+232	+18.2	子会社売上増加 荷役事業売上増加
	合計		16,860	18,513	+1,653	+9.8	
	営業利益		621	922	+301	+48.4	
経常利益		717	1,002	+284	+39.7		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		452	709	+256	+56.8		

四半期連結業績の推移（累計）（収益認識基準変更前の基準に置換え比較）

（単位：百万円）

			2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
			1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	2,184	4,350	6,392	8,292	2,125	3,975	6,036	7,879	1,930	3,780	5,682	
		水産物	764	1,515	2,382	3,096	779	1,494	2,344	3,021	705	1,448	2,255	
		農産物	720	1,404	2,177	2,857	780	1,489	2,271	2,990	597	1,211	1,867	
		その他	1,227	2,536	3,974	5,124	1,224	2,578	3,965	5,213	1,678	3,807	5,915	
		計	4,897	9,806	14,926	19,371	4,909	9,538	14,617	19,103	4,912	10,248	15,720	
	鉄鋼物流		406	815	1,238	1,601	271	560	961	1,376	428	842	1,279	
	その他		524	1,085	1,630	2,132	439	845	1,280	1,766	484	988	1,513	
	合計		5,827	11,707	17,795	23,106	5,620	10,943	16,860	22,247	5,825	12,079	18,513	
営業利益			226	465	769	873	200	317	621	782	262	553	922	
経常利益			251	498	816	913	237	380	717	902	287	587	1,002	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益			189	356	569	654	160	226	452	580	191	430	709	

連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2021年 3月期 期末	2022年 3月期 3rd-Q	増減	主な要因
資 産	流 動 資 産	6,457	7,442	+985	現金及び預金 +108 受取手形及び営業未収入金 ▲453 棚卸資産 ▲265 関税等立替金 +1,497
	固 定 資 産	5,837	5,777	-60	有形固定資産 ▲21 無形固定資産 ▲44 投資その他の資産 +6
	合 計	12,295	13,220	+924	
負 債	流 動 負 債	3,250	3,456	+205	営業未払金 +352 賞与引当金 ▲188
	固 定 負 債	2,123	2,225	+102	長期借入金 +89
	合 計	5,374	5,682	+307	
純 資 産		6,921	7,538	+616	利益剰余金 +589

※自己資本比率56.1%（非支配株主持分を除いて計算）

四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	5,999	5,972	6,119	5,983	6,014	6,370	6,642	6,457	6,307	7,230	7,442	
	固定資産	5,761	5,891	3,143	5,724	5,730	5,811	5,694	5,837	5,729	5,842	5,777	
	合 計	11,761	11,864	11,885	11,707	11,745	12,181	12,336	12,295	12,036	13,072	13,220	
負 債	流動負債	3,375	3,316	3,415	3,204	3,295	3,275	3,297	3,250	3,047	3,458	3,456	
	固定負債	2,439	2,622	2,332	2,310	2,213	2,576	2,441	2,123	1,982	2,346	2,225	
	合 計	5,814	5,939	5,747	5,514	5,509	5,852	5,739	5,374	5,029	5,805	5,682	
純 資 産		5,946	5,925	6,138	6,192	6,235	6,328	6,597	6,921	7,007	7,267	7,538	

第七次中期経営計画(2020 - 2022年度)

独自の価値創造 *~Develop inherent value~*

大東港運らしさを追求し、
これからも選ばれ続ける会社を目指します。

当社グループを取巻く環境が急速に変化する中、持続的成長を実現するため、以下の4 骨子から成る中期経営計画を策定しました。また期間中の機会とリスクを的確にとらえ、環境の変化に一早く適合することで競争優位性を確保していきます。

■ 骨子

1	コア事業の 拡大と基盤強化	<ul style="list-style-type: none">● 収益の拡大● 組織営業力の高度化 = 営業力+バックアップ力+専門力+情報力● 生産性の追求と新たな価値の創出
2	物流インフラ事業の拡充	<ul style="list-style-type: none">● 物流インフラへの投資と既存アセットの有効活用● 安定した海上コンテナ運送の実現
3	人財育成の高度化	<ul style="list-style-type: none">● 競争力の源泉となる多様な人財の育成推進● 働きがいの持続的な向上
4	グループ全体成長	<ul style="list-style-type: none">● グループ各社の発展と協働力強化

All Rights Reserved. Copyright © 2020 Daito koun co.,LTD.

通期の連結業績予想について

2022年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

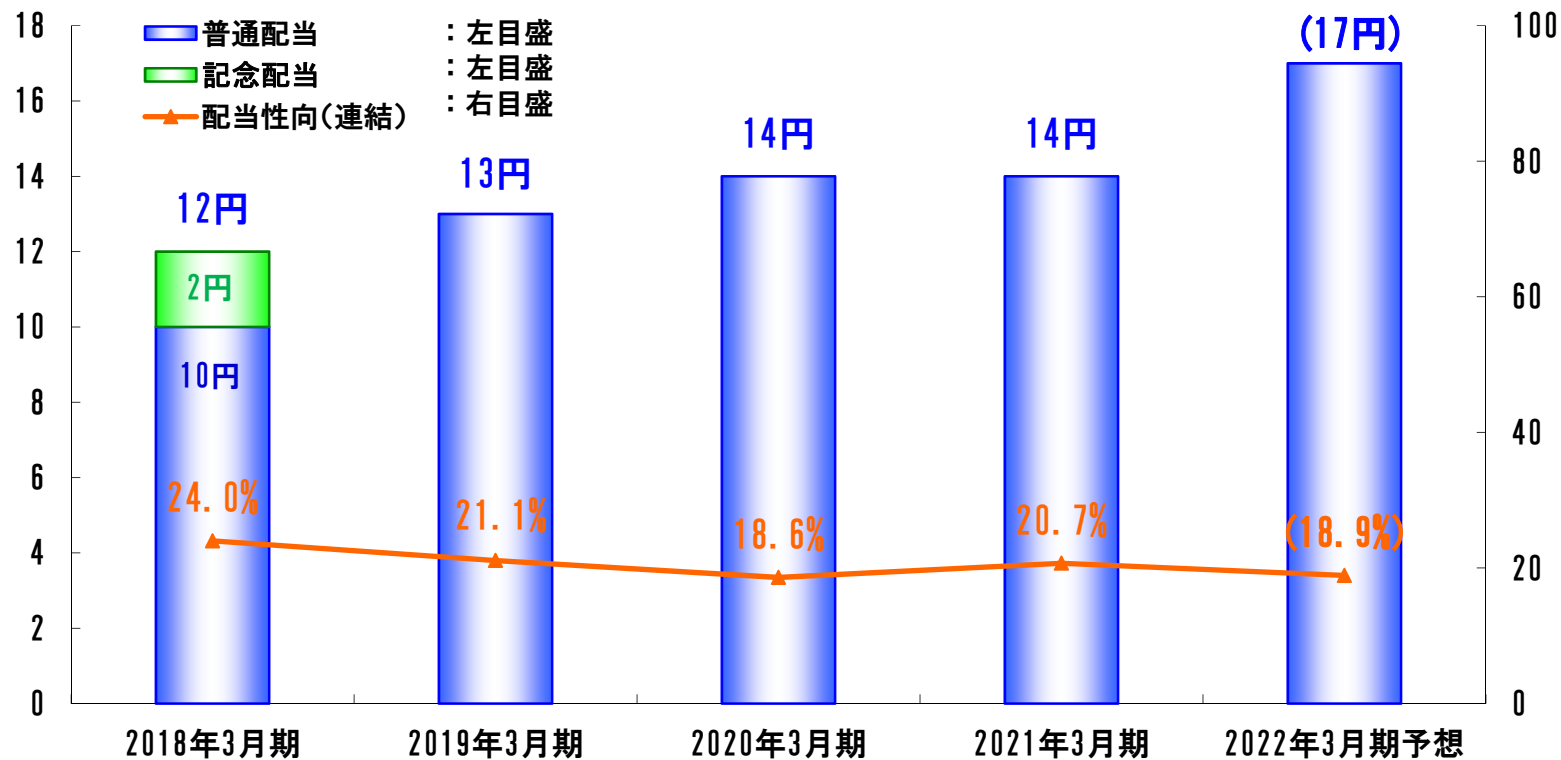
	2021年 3月期 通期	2022年 3月期 通期予想	増減	説 明
売 上 高	22,247	16,000	▲6,247	2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。
営業利益	782	1,000	+217	
経常利益	902	1,110	+197	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	580	770	+189	

配当金について

一株当たり配当金・配当性向（連結）

（単位：円）

（単位：％）



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき
作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因に
によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問合せ先

大東港運株式会社
総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : soumu@daito-koun.co.jp

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>